

小中一貫型赤小学校・赤中学校建築設計業務 基本設計説明書 概要版

令和 6 年 3 月

1.	設計方針	01
2.	配置・外部動線計画	02
3.	平面・内部動線計画	03
4.	意匠計画	04～05
5.	外構・敷地造成計画	06
6.	ローテーション計画	07～08
7.	工事工程・概算工事費	09

1. 設計方針

豊かな自然・文化・歴史を受け継ぎ、地域とともにみらいを育てる学校づくり

①計画について

- ・赤小学校、赤小学校上赤分校、赤中学校の3校を施設一体型小中一貫校として統合し、新設校舎と既存施設を再整備する計画です。
- ・赤村役場に併設する地域図書館を移転し、新設校舎と複合化します。
- ・既存の赤小学校・赤中学校が位置する敷地内の赤中学校屋外運動場に新設校舎を配置します。
- ・赤小学校の屋外運動場は低学年用、赤中学校の屋外運動場は高学年用として使用します。
- ・赤中学校屋内運動場は屋根、空調、LED照明、既存インフラの改修を行い、新設校舎の共用の屋内運動場として渡り廊下で接続し、引き続き使用します。
- ・共同給食センター、特別教室棟は既存のまま継続的に使用するため、新設校舎と渡り廊下で接続し、既存インフラの改修を行います。
- ・赤中学校校舎は付属する別館や自転車置き場、渡り廊下を含めて解体し、跡地には駐車場を整備します。

②設計コンセプト

【タテヨコに繋がる】

- ・高低差のある敷地を活かし、有効な土地利用計画とします。
- ・敷地・校舎内の上下動線が少なく、上下の移動を楽しめる空間づくりを行います。
- ・渡り廊下等により既存施設との連続性に配慮します。

【先進的な学習環境の整備・居場所づくり】

- ・普通教室や特別教室にはホワイトボードとプロジェクターを導入し、DX化を図ります。
- ・複合する地域図書館と学校図書室の相互利用を可能とし、相乗効果を図ります。
- ・学校の行事や地域のイベント等、幅広い利用に対応した施設づくりを行います。

【安心安全な施設】

- ・教職員や保護者の見守りが可能な施設配置計画、防犯カメラによる安全対策を行います。
- ・大地震が発生した場合には人命の安全が確保できる耐震性を確保します。



アプローチからアイレベルでみたイメージ

2. 配置・外部動線計画

① 配置計画上の配慮事項

- ・既存の赤中学校を利用しながら、新設校舎を建設するため、赤中学校の利用に影響がない配置に新設校舎を計画します。
- ・校舎を建設する上で、高学年グラウンドを可能な限り大きく確保するような計画とします。
- ・赤中学校校舎解体後の範囲は駐車場として整備し、東側の既存駐車場と併せて、教職員用 45 台、来客用 50 台の駐車台数を確保します。
- ・敷地南側の出入口を正門として改修し、歩行者のアプローチ空間を演出します。東側の出入口は車路の拡幅に加え歩道を整備し、歩者分離を図ります。
- ・新設校舎廻りを盛土し、駐車場と同等のレベルにすることで、駐車場から高低差がなく新設校舎へアクセスできる計画とします。校舎廻りと高学年グラウンドの高低差については、バリアフリーに配慮したスロープの複数設置や、階段状の外構により、利用しやすい計画とします。
- ・敷地の出入口、駐車場には防犯カメラを設置し、セキュリティに配慮します。

② 配置計画の趣旨

【通り抜けができる校舎】

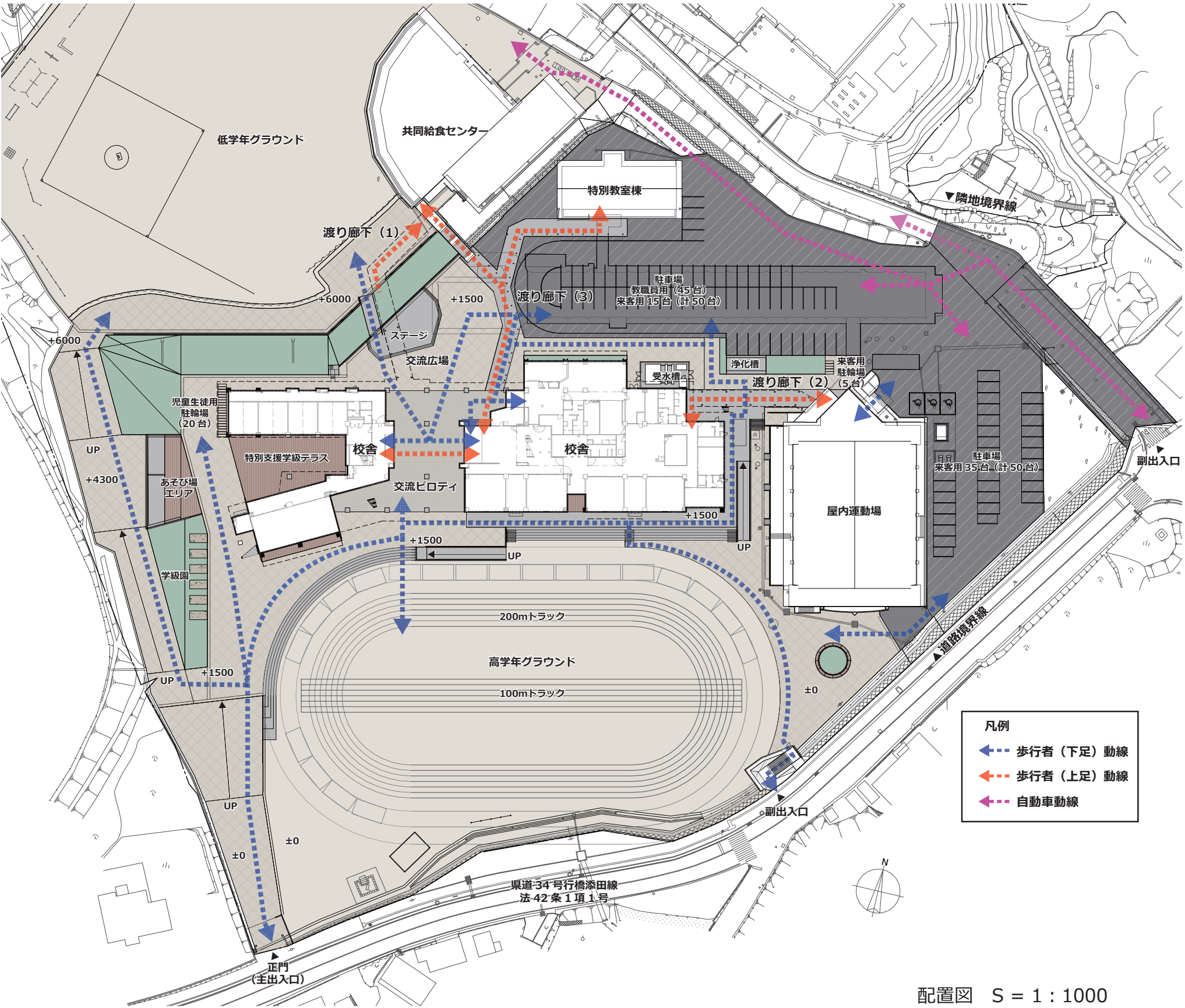
- ・1 階の校舎中央に交流ピロティを設け、南北の通り抜けを可能とします。南側の正門・高学年グラウンド、北側の駐車場・低学年グラウンドからそれぞれ昇降ホールへアクセスできる計画とします。交流ピロティや交流広場により学年を越えた交流や地域住民との交流を促進します。
- ・レベル差がある高学年グラウンドと校舎の間に複数のスロープを設け、バリアフリーに配慮した動線計画とします。

【既存建物との連続性】

- ・既存建物であり継続的に利用する、給食センター、特別教室棟、屋内運動場と新設校舎を渡り廊下で接続し、雨天時も雨に濡れることなく、行き来ができるような計画とします。
- ・既存建物のインフラは新設校舎と接続する改修とし、新設校舎にて一元管理を行います。

【屋内外の一体性】

- ・多目的教室を高学年グラウンドに対して開放可能な計画とし、様々なイベントでの一体的な利用を実現します。
- ・特別支援学級の南側に専用のテラスを設け、独立性が高く、落ち着いた環境での屋外活動を可能とします。
- ・小学校 1 ～ 4 年生の普通教室や保健室から直接屋外への出入が可能な計画とします。



配置図 S = 1 : 1000

3. 平面・内部動線計画

①全体平面計画

【教室エリア】

- ・1、2 階に小学校、3 階に中学校の普通教室を計画します。
- ・普通教室や特別支援学級は全て南面配置とし、バルコニー・テラスを設けます。
- ・普通教室には映写兼用ホワイトボードとプロジェクターを設け、ICT 教育を推進します。
- ・普通教室を少人数授業用教室や更衣室と併せてユニット化し、各ユニット間にはテラスを設けます。
- ・特別支援学級は小学校・中学校を集約して1 階西側に配置します。普通教室の昇降ホールとは出入口を分け、専用テラスを設けます。独立性が高く、落ち着いた学習環境づくりを行います。また、クールダウンのスペースやゆとりのあるトイレ、専用のシャワー室を設けます。
- ・既存の特別教室棟を技術室、図工室として活用します。

【管理エリア】

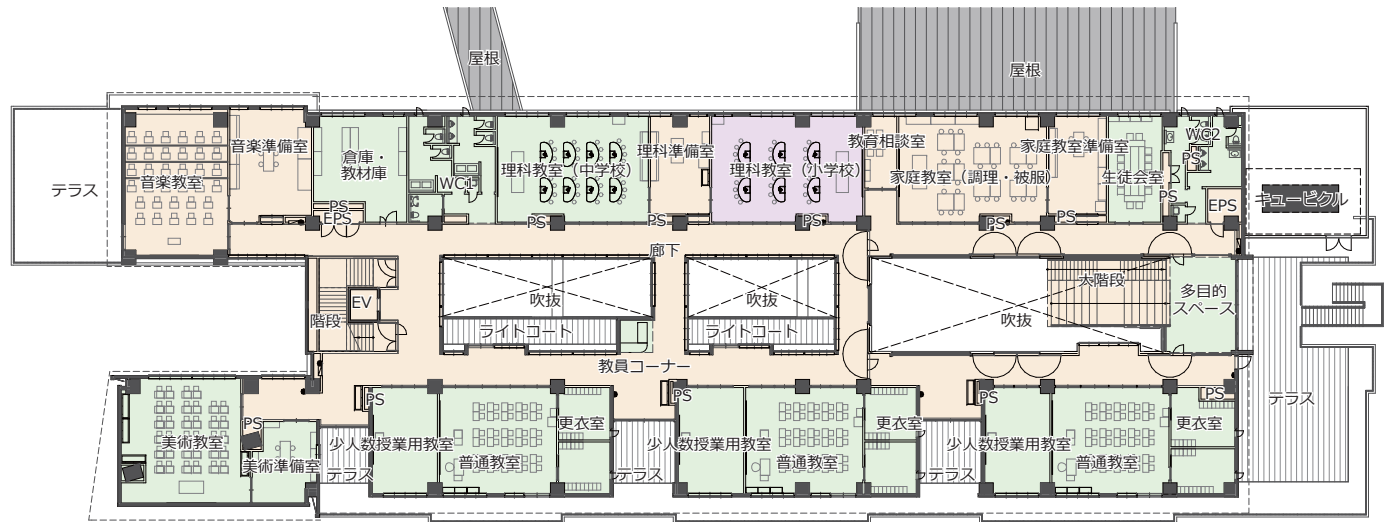
- ・教職員関連諸室を2 階に集約して配置し、管理・運用の効率化を図ります。
- ・1 階、3 階には教員コーナーを設け、教員の作業スペース、児童生徒との交流の場として活用する計画とします。
- ・相談室は各階の落ち着いた場所に配置し、出入の視線に配慮します。
- ・保健室は小学校用・中学校用をまとめて1 階東側の落ち着いた場所に配置します。屋内運動場・屋外運動場に近接すると共に緊急車両が容易にアクセス可能な計画とします。
- ・各階の教室付近に倉庫・教材庫を設け、教材等の出し入れを容易にします。

【共用エリア】

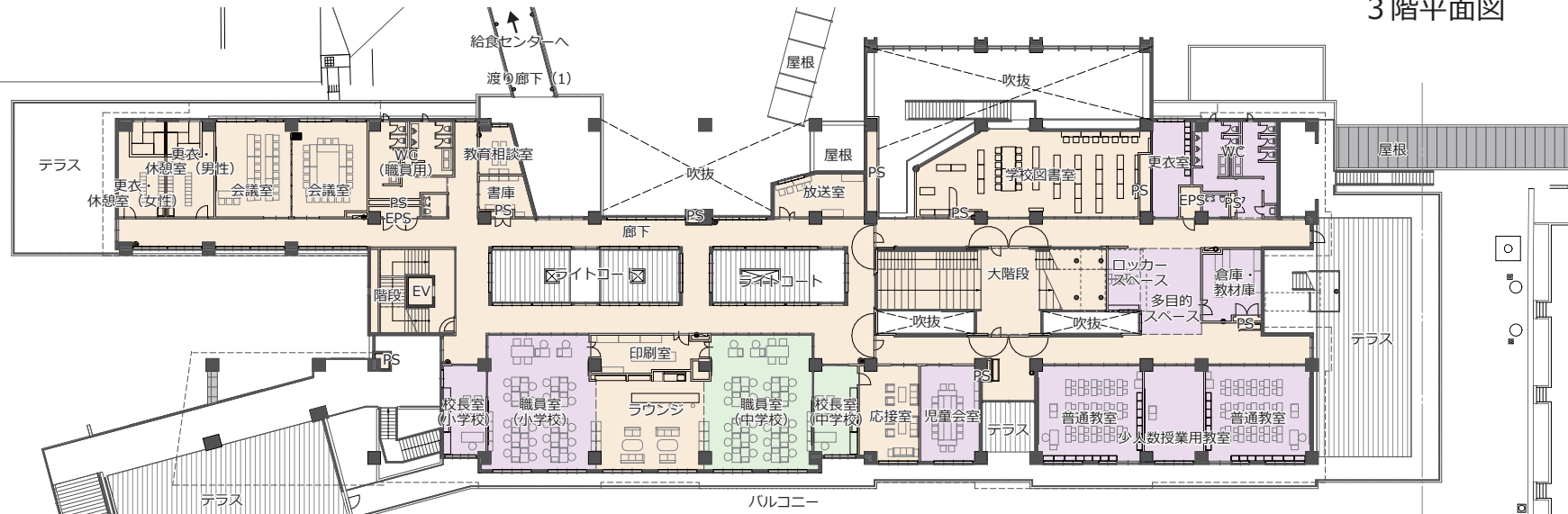
- ・特別教室棟、給食センター、屋内運動場へ繋がる渡り廊下を設けます。
- ・図書館は北側の駐車場に面して配置し、一般利用者の動線に配慮します。
- ・地域図書館と学校図書室を吹抜及び階段で繋ぐことで、一体的で学習意欲を促進する魅力的な空間づくりを行います。
- ・校舎の中央に大階段を設け、1 階から3 階まで吹抜で繋がり、上下階を光・風が通り抜ける心地よい施設づくりを実現します。1 階から3 階まで視線が通ることで、学年を越えた交流や、教職員の見守りを可能にします。
- ・普通教室付近に多目的スペースを設け、多様なアクティビティに対応した空間とします。
- ・バリアフリーやLGBTQs 等、多様性に配慮し、各階への多目的トイレの設置、サイン計画を行います。

【セキュリティ計画】

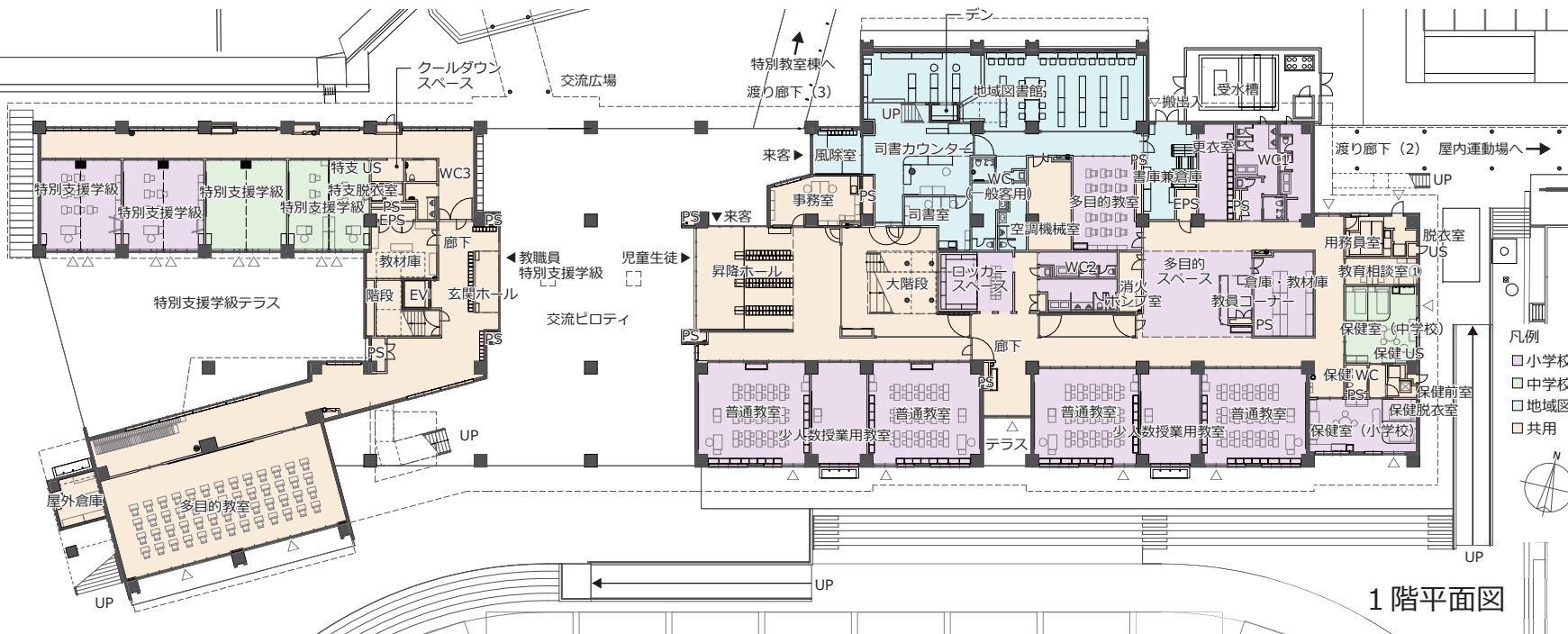
- ・2 階のバルコニーや1 階の屋外階段にセキュリティラインを設け、外部からの侵入を制限します。
- ・昇降ホールに面して事務室を設け、来訪者の窓口として見守りをを行います。
- ・2 階の教職員関連諸室から低学年・高学年グラウンド、正門、駐車場の見守りが可能な計画とします。



3 階平面図



2 階平面図



1 階平面図

4. 意匠計画

9年間を過ごす赤村の原風景となる建物デザインやランドスケープ

①外装計画

【高低差のある地形や周囲にそびえる山並みと調和した建物形状】

- ・建物の東西を階段状にセットバックし、屋上を利用したテラスを設けます。
- ・普通教室のユニット等により外壁面を凹凸させ、横長な立面が単一にならないように配慮します。
- ・3階の普通教室や特別教室を分節した勾配屋根として、山並みと呼応するようなリズムのあるファサードを目指します。

【地域住民や利用者に配慮した施設づくり】

- ・交流ピロティやテラスにより抜けの有るヴォリュームとし、圧迫感の軽減を図ります。
- ・渡り廊下や庇・ピロティ等の軒下空間により、天候に左右されず利用しやすい施設とします。
- ・バルコニーには設備開口の目隠しを兼ねた垂れ壁を設け、建物外周を囲むことですっきりとまとまりのある外観とします。
- ・正門から昇降口までの動線上に位置する多目的教室の角度を振ることで、アプローチとしてのファサードづくりを行います。
- ・駐車場から動線上には渡り廊下や2層吹き抜けのピロティに囲まれた交流広場を設け、利用者の溜まり場となるような空間づくりを行います。
- ・目隠しや、屋上への設置等により、設備機器が目立たないよう配慮します。

【地域産材を活用し、地域の景観と馴染むような仕上・色彩計画】

- ・赤村産材の木を軒天やサッシに採用することで、赤村のシンボルとして利用者を柔らかに迎え入れるような外観とします。
- ・基本色をアースカラーとし、地域の景観に配慮します。コンクリートの打放やレンガ調のタイル、木目調の仕上により部分的にアクセントを与えるような計画とします。



南側アプローチから鳥瞰でみたイメージ



交流広場からアイレベルでみたイメージ



駐車場から鳥瞰でみたイメージ

4. 意匠計画

②内装計画

【内装木質化】

- ・普通教室や廊下等の床材を複合フローリングとします。
- ・普通教室や特別支援学級、職員室等の間仕切りを木製とします。
- ・テーブルやベンチ等の家具は部分的に赤村産木材を活用して計画します。
- ・図書館や昇降ホールの天井には木ルーバーを採用し、温かみのある空間とします。

【利便性・耐久性に配慮した仕上の選定】

- ・特別教室や倉庫の床材は耐動荷重性に優れた塩ビシートを選定します。
- ・職員室やラウンジの床はOAフロアとし、耐摩耗性に優れたタイルカーペットを選定します。
- ・柱や梁型は構造躯体を利用したコンクリートの打放し仕上とします。
- ・普通教室の壁は掲示用クロスとします。
- ・諸室や壁・床・天井に応じてコストバランスに配慮した仕上の選定を行います。

【多様性に配慮し、知育を促進する空間づくり】

- ・LGBTQ 等に配慮し、校舎 2、3 階のトイレを完全個室化します。
- ・ワークスペースやデン、クールダウンスペース、教員コーナー等、児童生徒や一般利用者にとってそれぞれの居場所となる空間づくりを行います。
- ・従来の男子は青、女子は赤といった色彩にとらわれないサイン計画を行います。
- ・太陽光発電量の見える化等、建物の環境性に関するサインを掲示します。
- ・児童生徒の環境に対する学習教材となるような、リサイクル材等の環境に配慮した仕上の選定を行います。

③環境計画

- ・建物の東西を上階がセットバックする形状とし、敷地内の日影に配慮します。
- ・校舎を南向き、東西軸配置とし、熱負荷や照明エネルギーの低減を図ります。また、開口部と外部廻りの高気密高断熱化を図り、環境負荷軽減に寄与する計画とします。
- ・南北の卓越風向を取り込むため、南北面に開口部を設け、風が通り抜ける心地よい校舎をつくります。
- ・吹抜のある大階段の上部にトップライト及び換気窓を設けます。トップライトにより自然採光を取り入れ、換気窓により校舎内の空気が循環する、エコで快適な校舎とします。
- ・校舎の廻りに深い庇、バルコニーを設け、夏季の日射による影響を低減します。
- ・建物中央に設けたライトコートにより、明るい中廊下プランとします。また、ライトコートに設けたトップライトから交流ピロティに光が入る計画とします。
- ・屋根面に太陽光パネル（10kW）を設置し、自然エネルギーを活用した校舎とします。
- ・空調、照明、給湯、EV 等の設備機器類においても環境負荷に配慮した設計を行います。
- ・災害時に備え、避難所として利用する屋内運動場の緊急排水槽、マンホールトイレを設けます。



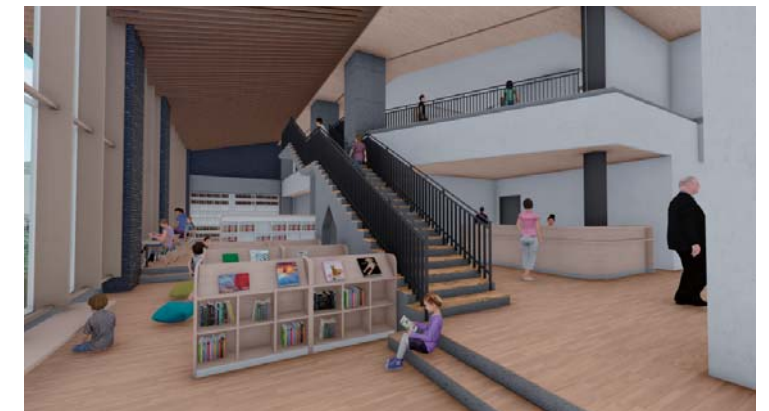
昇降ホールから大階段をみたイメージ



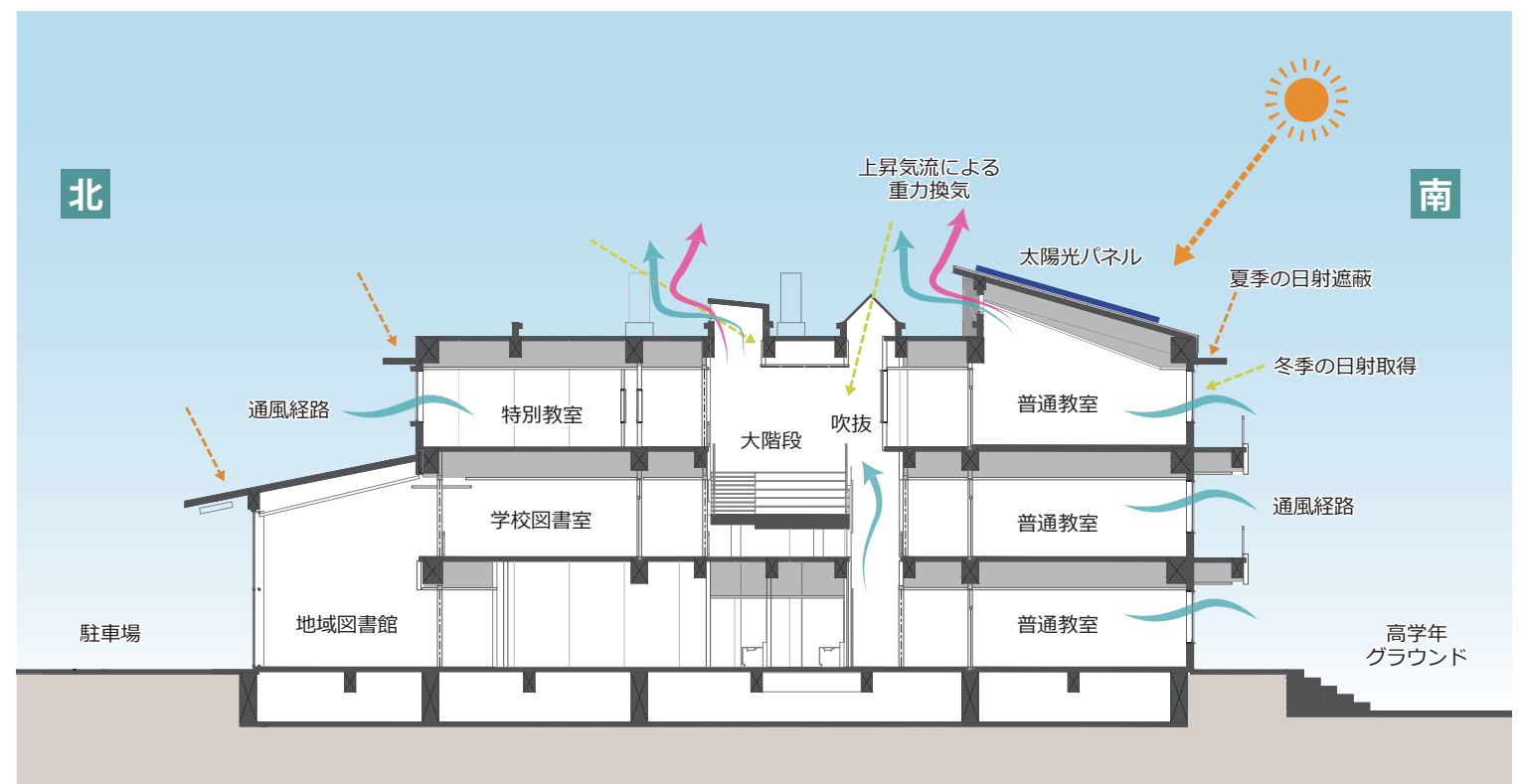
大階段 2 階のアイレベルイメージ



特別支援学級テラスイメージ



地域図書館から学校図書室イメージ



環境断面イメージ

5. 外構・敷地造成計画

①舗装計画

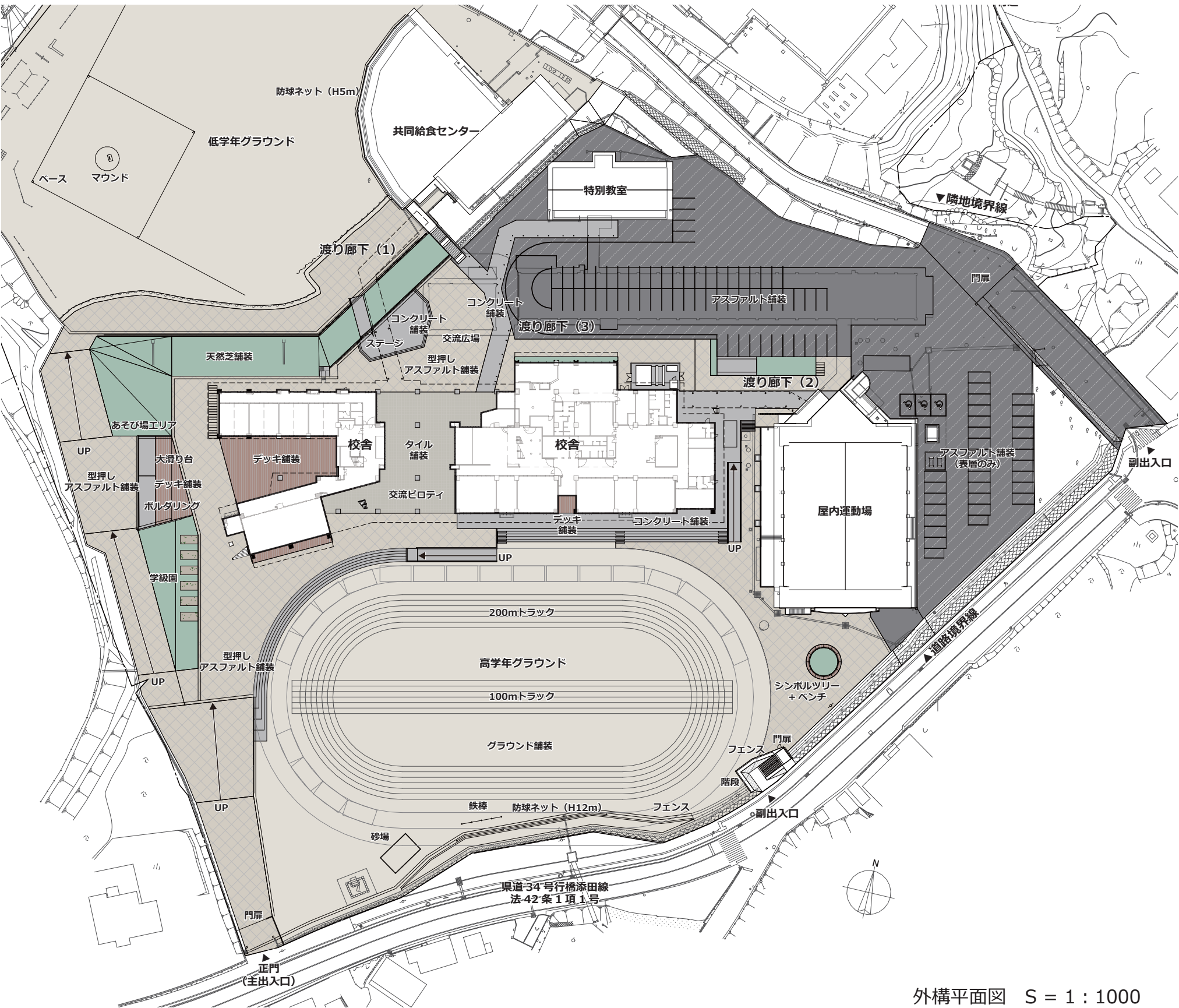
- ・校舎廻りのアプローチなどは歩行性や耐久性に優れた「型押しカラーアスファルト舗装」とします。
- ・交流ピロティはエントランスとしての意匠性や清掃性に優れた「タイル舗装」とします。
- ・普通教室や保健室の外部、渡り廊下部分は凹凸が少なくバリアフリーや清掃性に配慮し「コンクリート舗装」とします。
- ・テラスや西側のあそび場エリアは「ウッドデッキ舗装」とします。
- ・西側の法面は緩勾配とした「天然芝舗装」とします。

②施設計画

- ・グラウンドは200 m、100 mのトラックを確保し、イベント時のテント設置が可能な計画とします。
- ・屋内運動場の南側にシンボルツリー、サークルベンチを併設します。
- ・西側の法面を緑化します。また、勾配を利用してボルダリングと大滑り台を設け、あそび場エリアとして整備します。
- ・西側に小学生と特別支援学級のための学級園を計画します。
- ・交流広場には多様なイベントに活用可能なステージを計画します。
- ・敷地南側の出入口を正門として、奥行きのある空地を確保し、門扉等の改修を行います。
- ・低学年グラウンドに野球用のマウンド、ベースを設置し、給食センター側には防球ネットを整備します。
- ・校舎の西側の底下部に駐輪場を整備します。

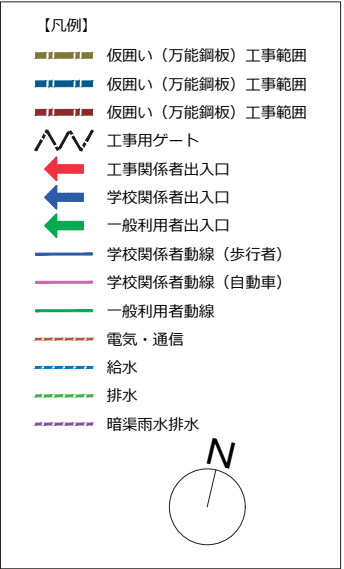
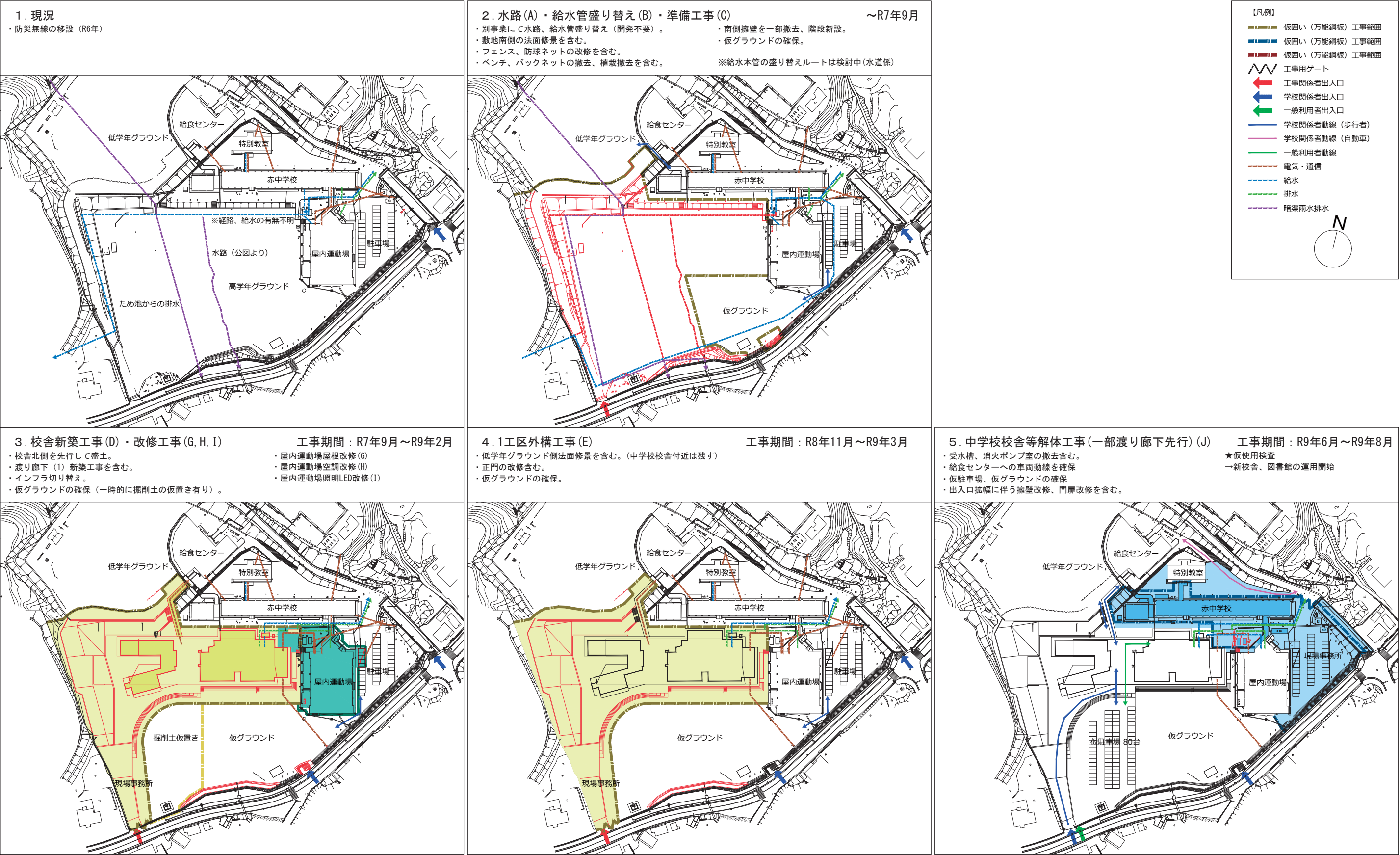
③土地利用計画

- ・校舎廻りを1.5 m程度盛土し、駐車場側と同等のレベルとし、アクセス性の向上を図ります。グラウンド側にはスタンドとしても利用できるような階段やバリアフリーに配慮したスロープを設けます。
- ・グラウンドとして有効に活用できる範囲を拡大するため、敷地南側の法面の勾配や植栽、防球ネット等を改修します。
- ・敷地東側の出入口を4 m程度拡幅し、安全な歩道とゆとりのある車路を整備します。
- ・アクセス性に配慮し、敷地南側に階段と出入口を新設します。
- ・敷地南側の道路境界付近には既存のものを有効活用しつつ、新たにフェンスや植栽を整備します。
- ・敷地の西側に側溝を整備し、適切な雨水排水を計画します。



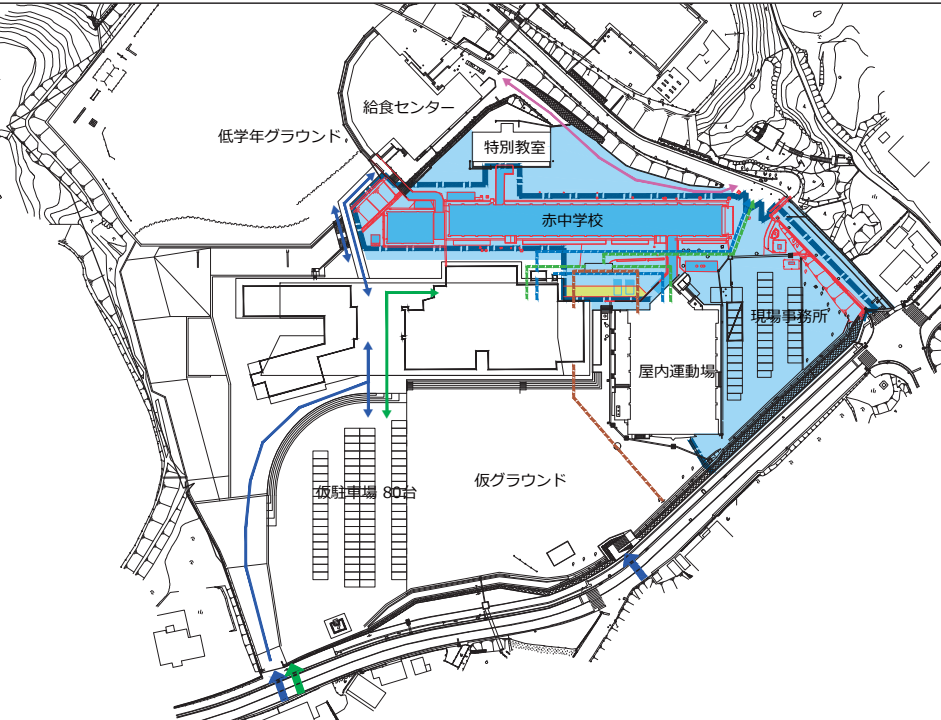
外構平面図 S = 1 : 1000

6. ローテーション計画

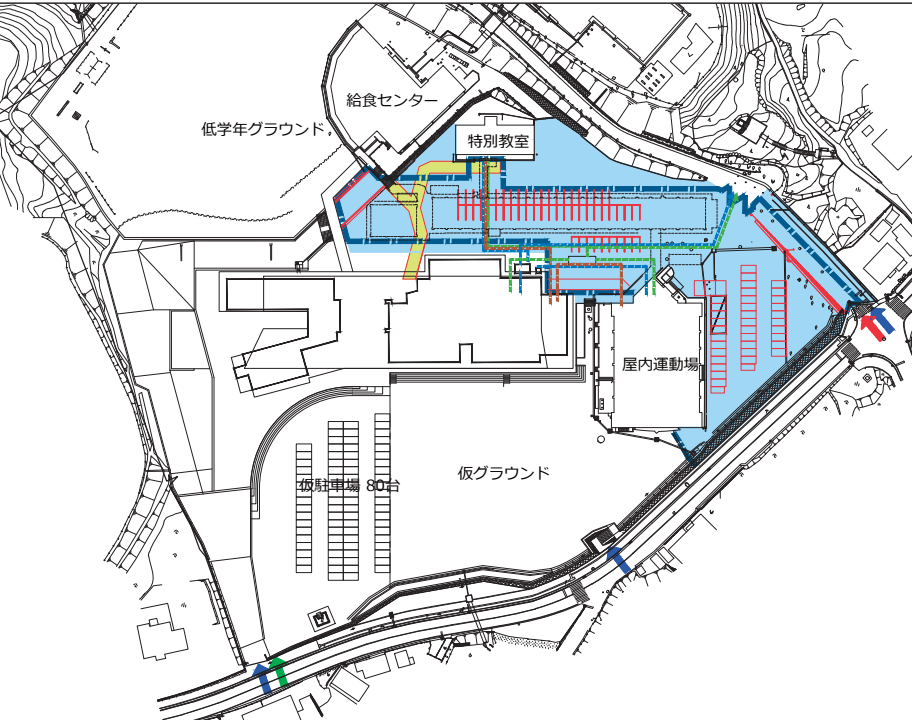


6. ローテーション計画

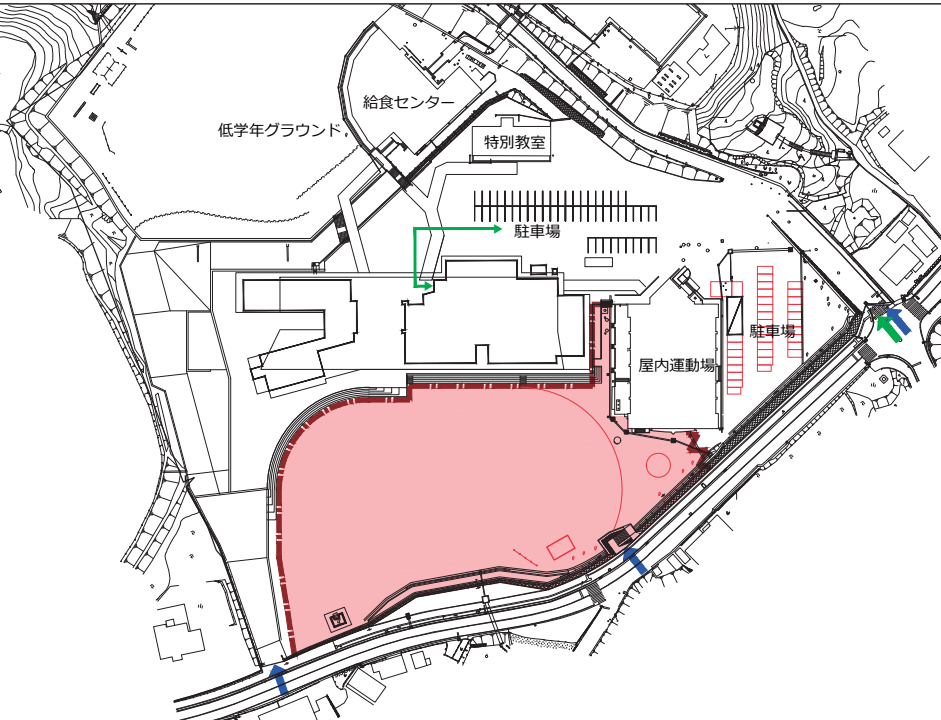
6. 渡り廊下新築工事(F)・中学校校舎等解体工事(J) 工事期間：R9年6月～R9年12月
・浄化槽、キュービクルの撤去含む。
・給食センターへの車両動線を確保
・仮駐車場の確保
・出入口拡幅に伴う擁壁改修、門扉改修を含む。



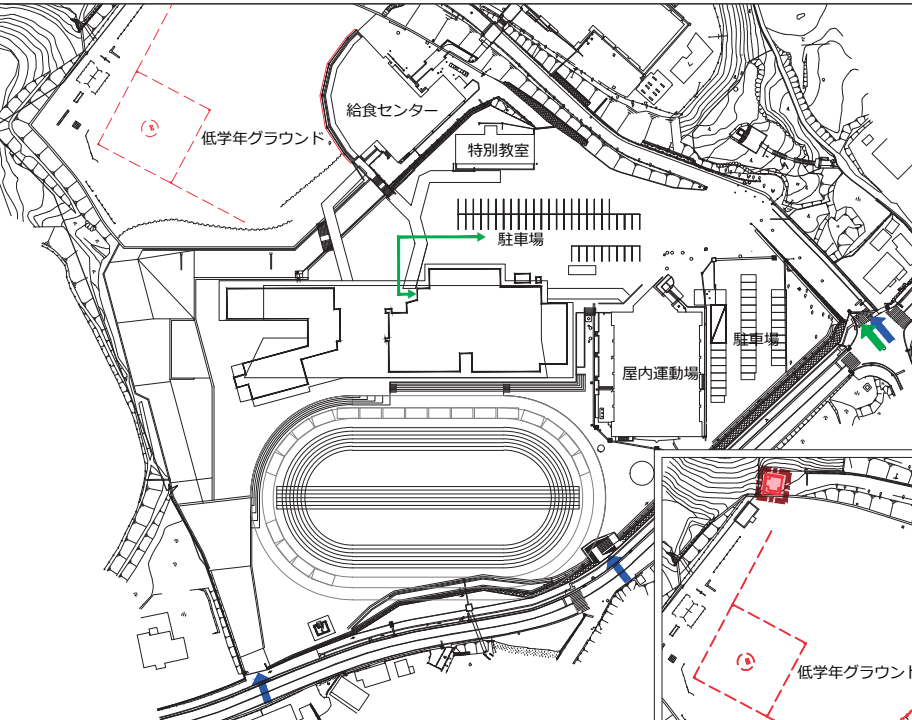
7. 渡り廊下新築工事(F)、2工区外構工事(K) 工事期間：R9年10月～R10年2月
・特別教室へのインフラ接続を含む
・駐車場95台（教職員用45台、来客用50台）確保。
・低学年グラウンド側法面修景を含む。（中学校校舎付近のみ）



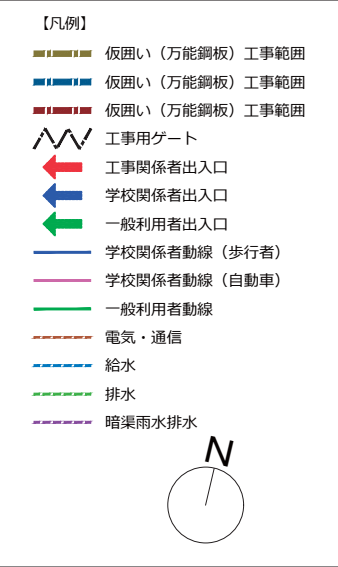
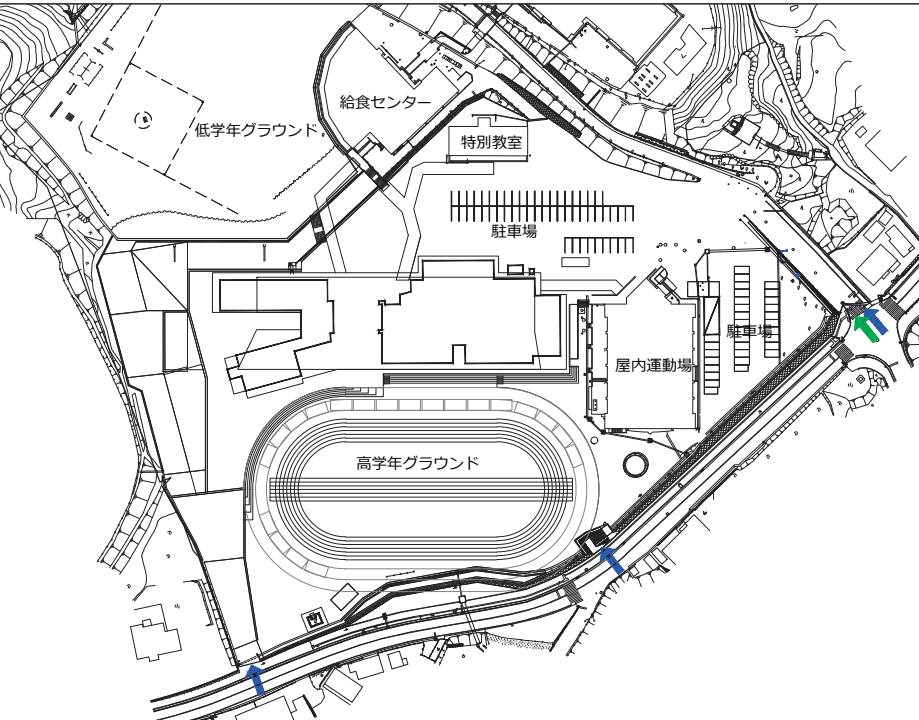
8. 3工区外構工事（高学年屋外運動場改修）(L) 工事期間：R9年11月～R10年3月
・砂場、鉄棒、植栽の移転新設を含む。



9. 3工区外構工事（低学年屋外運動場改修）(L) 工事期間：R10年2月～R10年3月
・ベース、防球ネットの新設。
・トイレの解体
・グラウンド/舗装の改修は含まない。

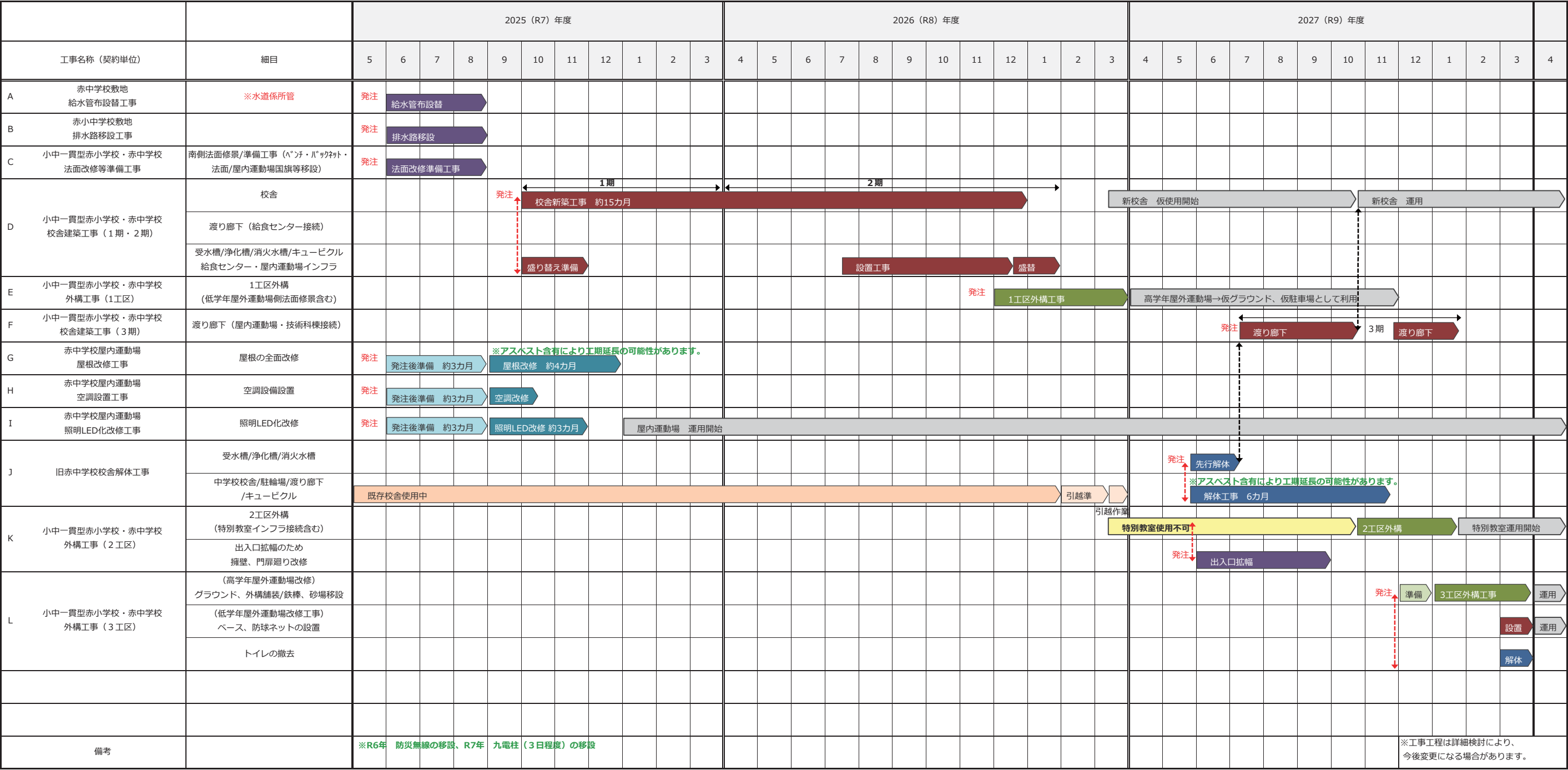


10. 完了 R10年3月



7. 工事工程・概算工事費

① 工事工程



② 概算工事費

1. 校舎棟	新築	2,894,969,000	
2. 付属棟	新築	256,795,000	(渡り廊下,各槽共)
3. 屋外付帯	新設	454,916,000	(土木工事を含む)
4. 体育館	改修	172,590,000	(屋根,空調,照明)
5. 既存校舎	解体	177,727,000	(渡り廊下,各槽共)
合 計		3,956,997,000	(経費・税込み)

※「敷地内給水管布設」及び「排水路移設」工事は含んでいません。